

新型コロナウイルス感染症に係る市長メッセージ

新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めがかからない状況に鑑み、政府は、5月28日、隣県の広島県や福岡県等に発令中の「緊急事態宣言」を、6月20日まで延長しました。

また、山口県内では、5月21日に県医師会と県病院協会が「医療緊急事態宣言」を発表するとともに、同月28日には、県が実施する「新型コロナ感染拡大防止集中対策」期間を6月20日まで延長するなど、医療提供体制がひっ迫した非常に厳しい状況となっています。

本市でも、4月中旬以降、断続的に感染者が発生するなど、予断を許さない状況が続いています。こうしたことから、本市の夏の風物詩の一つである室積と虹ヶ浜の両海水浴場の開設中止という苦渋の決断を行うとともに、併せて光花火大会の中止も発表されました。今年も、市民の皆様には、様々な場面で我慢やご協力をお願いすることとなりますが、どうかご理解いただくとともに、引き続き、県の集中対策期間において、県外との往来の自粛や外出機会の半減、感染予防の徹底等の取組にご協力をお願いいたします。

さて、本市のワクチン接種は、光市医師会をはじめとした関係者の皆様の絶大なご支援とご協力により、5月末時点で、接種対象となる65歳以上の高齢者の6割を超える約1万1,500人の方に1回目の接種を実施しています。

そして、6月10日には、16歳から64歳までの市民の皆様にはワクチン接種券を発送し、同月17日からは、国が示す優先順位に沿って、基礎疾患のある方等の予約受付を開始してまいります。

さらに、その後は、本市が独自に定めた優先順位に基づき、まずは、高校生や、幼稚園・保育園・小中学校・高等学校の教職員等の皆様、続いて、16歳未満の子ども達の保護者等の皆様への接種を実施するとともに、並行して事業所等の集団接種を計画するなど、市民の皆様へのワクチン接種を加速し、できるだけ早期に完了してまいりたいと考えています。

なお、12歳から15歳の子どものワクチン接種は、国から示された方針に沿って、関係機関等との連携のもと、スピード感を持って対応してまいりますので、今しばらくお待ちください。

ワクチン接種は、私たちの「平穏な日常」を取り戻すための第一歩です。市民の皆様のご健康と安全・安心な暮らしを守るため、引き続き、関係機関等との綿密な連携のもと、円滑なワクチン接種に全力を傾注してまいりますので、市民の皆様には、これまで以上に強い危機感をもって、感染予防を徹底していただきますようご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

令和3年6月2日

光市長 市川 熙